



ゆう&あい

12月号
平成28年
11月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

笑って学び

権利擁護まちづくり講演会

成年後見制度

成年後見制度は判断能力が不十分な方の財産管理や契約、福祉サービスの利用等を法的に支援する制度です。

年々その重要性が目立つ「成年後見制度」をもっと私たちの身近な制度として活用していくために、落語をとおして簡単にわかりやすく説明します。



プロフィール

昭和52年 古今亭志ん朝に入門
平成5年 真打昇進。
平成17年 成年後見落語「後見爺さん」をNHKハートフォーラムで発表。

☆問合せ☆
播磨町権利擁護まちづくり委員会
(事務局：播磨町社会福祉協議会)

☎ (079) 435-1712
E-mail : info@harima-wel.or.jp

駐車場に限りがありますので、会場にはできるだけ自転車や徒歩でお越しください。

日時 平成28年 **12月2日(金)**
13:30~15:30
場所 播磨町健康いきいきセンター
3階 大会議室

☆☆☆ プログラム ☆☆☆

第1部 成年後見落語

演目 「後見爺さん」
落語家 **桂 ひな太郎 師匠**

第2部 座談会

司会 **桂 ひな太郎 師匠**
出演者
SIN法律労務事務所
弁護士 **福島 健太 氏**
地域支援センターあいあむ
東播磨圏域コーディネーター
濱口 直哉 氏
播磨町社会福祉協議会
事務局長 **西野 英三郎 氏**

ホームヘルパーステーション

- ①身体介護 (入浴・排泄・食事等の介護)
- ②生活援助 (買物・調理・洗濯・そうじ等)

☆営業日：月曜日から日曜日
(12月28日～1月3日を除く)
☆営業時間：午前7時30分～午後9時

非常勤ヘルパー募集中

居宅介護支援事業所

- ①要介護認定の申請に関する手続きの代行
- ②皆さんからの相談に応じて、皆さんの希望に添って、居宅サービスや保健医療・福祉サービスが適切に利用できるよう、サービスの種類や内容を定めた「居宅サービス計画(ケアプラン)」を作成します。
- ③居宅サービス計画(ケアプラン)に基づき、サービスの提供が確保されるように、居宅サービス事業者や介護保険施設などの連絡調整を行います。

☆営業日：月曜日から金曜日(国民の祝日及び12月29日～1月3日を除く)
☆営業時間：午前8時45分～午後5時20分

加古郡播磨町南大中1-8-41
福祉しあわせセンター内
TEL 079-435-5008
FAX 079-435-5218

デイサービスセンター

☆営業日：月曜日～土曜日
☆営業時間：午前8時45分～午後5時20分
☆主なサービス内容：
健康チェック・入浴・食事・送迎
日常動作訓練(機能訓練・レクリエーション)

加古郡播磨町播磨町南大中1-8-50
TEL 079-437-6155
FAX 079-437-0065

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712

心配ごと相談

秘密厳守
日時 毎週火曜日 13時～16時
場所 福祉しあわせセンター

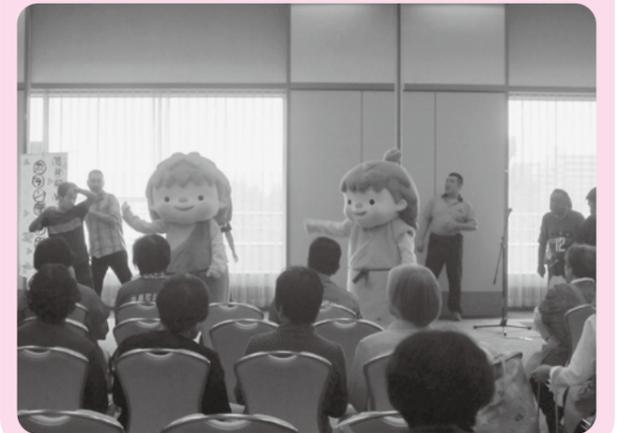
◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

ゆうあい園 ボランティア交流会

平成28年10月5日(水)、台風が接近し開催が危ぶまれる天候の中、18回目を迎えるボランティア交流会を播磨町健康いきいきセンターで開催しました。当日は、日ごろからお世話になっている木曜会やスイトピー等のボランティアの皆さんや保護者120名の方にご参加いただきました。

園では、この日に向け9月から練習を始めた太鼓や“はりま 土器☆ドキダンス”で、皆さんに楽しんでいただきました。

たくさんの地域の方に支えられていることを実感した交流会でした。



困りごと相談

秘密厳守

日時 12月1日・8日・22日(木)
13時～15時

場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員が
ご相談をお受けします。

知的障害者(児)相談

日時 第2火曜日
13時～14時30分
場所 石ヶ池パークセンター

認知症家族の会

日時 12月10日(土)
13時30分～15時30分
場所 福祉しあわせセンター
内容 懇談会

法律相談

弁護士により
月1回、実施します。
成年後見制度のご相談も
お受けします。

おもちゃルーム “きらきら”

いっっぱいのおもちゃで遊ぼう
12月の開設日

日時 12月1日(木)・17日(土)
10時～12時
場所 播磨町福祉会館

第9回福祉会館文化祭を開催しました

播磨町福祉会館（指定管理者：播磨町社会福祉協議会）では、今年も10月25日（火）、「福祉と文化のかおり高いまちにしましょう」をテーマに、9回目となる文化祭を開催しました。

開催にあたっては、福祉会館を利用する団体・サークルに呼びかけ実行委員会を組織し、企画・準備・当日の運営にいたるまで、皆様のご協力のもと開催しました。

おかげさまで、天候にも恵まれ、たくさんの方にご来場いただきました。紙面をかりまして、実行委員の方はじめご協力、ご来場いただきました皆様にお礼申し上げます。



寄付者ご芳名

あたたかい善意ありがとうございました。
（平成28年10月12日～11月10日）

（所得税法第78条第2項第3号該当
法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当）

●福祉のために

（個人の部）		（敬称略）	
地区名	氏名	金額	
大 中 東	匿 名	5,000円	
古 田 東	匿 名	10,000円	

（団体の部）		（敬称略）	
団体名	金額		
播磨町花と緑の協会	3,000円		
あすなろ	50,000円		
兵庫東播岳風会婦人部	タオル146枚		
播磨町陶芸倶楽部	2,000円		

●今月の払出状況

子どものいない老人誕生祝い	18,000円
---------------	---------

お礼とお願い

第9回福祉会館文化祭において、今年も、ボランティアグループ「あすなろ」の皆さんによる手作り品等のバザーが行なわれ、来場いただいたたくさんの方にご購入いただきました。この売上金より50,000円を福祉会館のために活用してくださいとご寄付いただきましたので、紙面をかりましてお礼申し上げます。

なお、あすなろでは、ご家庭で眠っている毛糸・着物・布地等の提供いただけたらとのご希望があります。ご家庭に眠っているものがあれば、ぜひ福祉会館までお届けください。ご協力お願いいたします。



小さなまちに広がれマップ ～ささえあいマップ～

西部コミセン区

西部コミセン区では、9月17日（土）・24日（土）に2日間連続講座を開催しました。



参加者の感想

- ・地域のひととの日々のお付き合いを大切にしたい。
- ・助けてもらいたいことが同じだったり、助けてあげられることがよくわかった。
- ・いずれは地域にお世話になる事があるかと思いますが、今自分ができることをしたいです。

野添コミセン区

2日間連続講座 受講者募集

日時： 1日目 12月 3日（土）
内容「助けられ上手講座」
日時： 2日目 12月10日（土）
内容「支えあいマップづくり」
両日とも10時～12時

場所：野添コミセン 大会議室（2階）

対象：野添コミセン区在住の方

定員：40名（申し込み先着順）

問合せ・申込み

播磨町社会福祉協議会 ☎079-435-1712



ささえあいマップとは…

●誰がつくるの？

ご近所同士の住民が数名集まって行います。

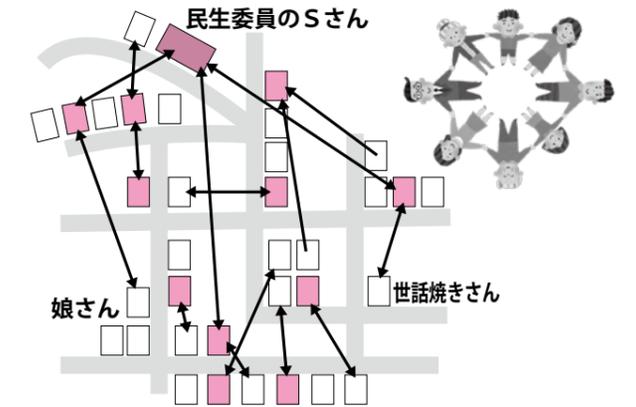
●何をやるの？

支援を必要としている人（ひとり暮らしの方、介護が必要な方など）や気になる方（もしかしたら支援を必要としている方）について、その方の困りごとや思いなどを拡大した住宅地図に書きこんでいきます。さらに、参加者が知っている、その方と関わっている人との「関わり合いの線」も引いていきます。ここでの「関わり」とは、家を訪ねている、連れ合っているいきいきサロンに参加している、日頃からの支えあいがある、などを指しています。

●目的は？

これを通じ、困りごとや、地域に共通する課題を見つけ、その解決方法をみんなで考え、日常的な支援や活動につなげていくことを目指して行います。地域での支えあい・助け合いの仕組みづくりを行うための一つの方法であると考えています。

「福祉」といえば、「サービス」が思い起こされます。介護保険サービスや障害福祉サービス、子育て世帯に対するサービス等々。国・県・町といった「公」が充実を図り、施策展開していますが、どこまで「公助」を推し進めても十二分ということはありません。そこで求められてくるのが、住民同士の支えあいである「共助」です。そこで、社会福祉協議会では、「支えあいが必要なのはわかるが、どうすればいいの？」といった住民の皆様の声をもとに、皆さんと共に考え、実践していくために、《ささえあいマップ》を展開しています。



暑い夏から短い秋を通り越し冬へとなりました。風邪やインフルエンザを発生する方も多くなってきました。手洗いやうがい、予防接種等の身体を守る手段はよく知られていますが、心も風邪やインフルエンザのように病気に罹り、弱ることがあります。そのような時の対策はあまり知られていないように思います。忙しくて心がしんどい時、理由はわからないけれど漠然とした不安に襲われる時、頑張らないといけないうちに頑張れない時、そんな時には心に栄養を与えてあげてください。楽しみの時間を作ったり、遠出をして気分転換をしてみたり、映画を観て泣いてみたりすることで日常から離れられることができ心が少しほっとします。でも、心が病気に罹ってしまった時には、栄養を与えるだけではなかなか回復しません。そんな時には身体と同様に薬が必要になってきます。心のお薬と聞くと抵抗を感じる方も少なくないかもしれませんが、今は以前と比べ、心のメカニズムも解明されてきており、いろいろなお薬も開発されています。少しの期間服用することで元を取り戻せることもあります。大事なことは、見えにくい心も身体と同様に考えて労ってあげることです。休んでも休めない気がする、涙もなくて不安が続き眠れない、人には相談しにくい、そんな時は気軽に専門医へ相談してください。さっさとあなたのことをわかってもらえますよ。

さいごに、若くても歳を重ねても楽しいのある生活を送りましょうね、お互い

（亀）

ほのぼのの便り

播磨町地域包括支援センター